

議会だより おふせ

No **95**
2019.1.20
発行 長野県小布施町議会



- 議会より新年のあいさつ…………… P 2
- 議会報告(12月)・人事案件…………… P 3
- 議会報告(10月)・来年度の予算要望…………… P 4
- 議会日誌(懇談会)…………… P 5
- 議員なり手不足検討会…………… P 6~7
- 陳情・議員一般質問見出し…………… P 8
- 議員一般質問…………… P 9~20
- 議会日誌(研修会・活動)…………… P 21
- 小学6年生の議会傍聴…………… P 22~25

新春の朝日をあびながら
歩き初めの皆さん

「トーテムポール作りと餅つき大会」



藤岡牧夫美術館館長
藤岡 牧夫

小布施町づくり委員会の皆さんの協力を得て、冬の餅つきと夏のスイカ割に美術教室を加え、子ども達に食べる楽しみや物づくりの面白さを合わせて体験してもらっています。ここでは、学校や他の

美術教室では、なるべくやっていないことを体験してもらおう。それを毎回意識しています。今回は紙コップを積み重ねた柱を使ってトーテムポールを作成しました。まず紙コップどうしを糊で貼る。この

色付けは個性の発揮される場所、丸い紙コップに色付けの体験をした子は少ないはずだが、子ども達は着々と作業を進め人の顔、動物、鳥と翼、花にハートに口ボット等々、思い思いの絵が描かれ個性豊かなトーテムポールが完成しまし

た。6年生は4月から中学生になるので最後の教室になり少々寂しく感じます。小学生までの子どもには絵を上手に描く指導はせず、より面白い作品を楽しく作る姿を見たいと私は考えます。次回もおもしろいものを食べて「面白かった」と言ってもらえる教室が開けたら良いと思います。

恒例となりました、町役場前での餅つきは、元気な子や、うながされて初めてつく子など、おもしろい杵を臼の真中に打ち込むのも、よろよろしながら大変至難の技だったでしょう。お餅が杵にくっついてはなれず大人の人に手助けをしてもらいながら楽しいひと時、ボランティアの女性が「あんころ餅、きな粉餅、大根のおろし餅」にしてお餅をたつきたてのお餅をおかわりしながら口いっぱいにはうばる子など、親子で楽しんでました。



意気の合った2人にオジサンも苦笑い



3人がかりでヨイショ!



よいしょ!だいじょうぶかい。



トーテムポールづくりの子ども達



ぼくが作りました



見事に出来たトーテムポール

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
今春の4月30日を以って元号「平成」が幕を閉じ、5月1日には新たな元号に改元されます。その直前の21日は町議会議員の投票日です。
過去2回の町議員選挙の「無投票」を乗り越えて、今春の町議選には多くの立候補者が小布施町の将来を熱く語り訴えていただくことを期待します。
新しい元号のもとで、町民の信託を受けた新しい議員が、小布施町の更なる発展のために議論を展開していただければ幸いです。

| | |
|-----------|-------|
| 発行責任者 | 関 悦子 |
| 議長 | 関 悦子 |
| 議会広報常任委員会 | |
| 委員長 | 福島 浩洋 |
| 副委員長 | 小西 和実 |
| 委員 | 富岡 信男 |
| 委員 | 小淵 晃 |
| 委員 | 渡辺 建次 |
| 委員 | 小林 正子 |
| 委員 | 悦子 |

12月会議

12月会議を、12月3日から14日の12日間の日程で開催しました。上程された議案は、条例の一部改正3件、補正予算6件、小布施総合公園スポーツコミュニティセンターの指定管理者の指定、長野広域連合規約の変更、北信保健衛生施設組合の財産処分の協議（2件）、北信保健衛生施設組合規約の変更、固定資産評価審査委員会委員の選任、安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出で、それぞれ原案のとおり可決、同意、採択されました。

総務産業常任委員会

- 条例の一部改正

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例は、人事院勧告に基づき期末手当を年間0.05月引き上げるものです。

小布施町職員の給与に関する条例及び一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例は、給与を平均0.15%を引き上げ期末・勤勉手当を年間0.05月分・宿日直手当を200円人事院勧告に基づき引き上げるものです。
- 一般会計補正予算1,726万9千円の補正額で、予備費の充当により対応しました。
 - 財産管理費 計714万8千円
 - ・建設水道課事務室を拡張するための設計監理委託料、工事請負費 685万3千円
 - 高齢者福祉費 計101万8千円
 - ・介護保険特別会計繰出金 89万6千円
 - 児童福祉総務費 110万4千円
 - ・子ども子育て支援交付金返還金
 - 環境保全総務費 90万2千円
 - ・生活灯修繕・新設工事費

- 公共下水道費 339万5千円
 - ・下水道事業特別会計繰出金
- 北斎ホール管理費 65万円
 - ・2階トイレ修繕
- 人件費（議会費から教育費まで）人事院勧告等人件費の補正 191万6千円
- 下水道事業特別会計補正額2,291万9千円を追加し総額5億2,118万8千円
 - ・大島地区の管渠布設替え、管渠更生工事 2,281万円

社会文教常任委員会

- 国民健康保険特別会計補正予算
 - 一般管理費 8万5千円
 - ・人件費の補正
 - 特定健康診査等事業費 25万円
 - ・特定保健指導保健師賃金 25万円
 雇用期間は平成31年1月～3月で、時給1,300円で月6日位の勤務を予定しての補正予算。
- 北信保健衛生施設組合のじん芥処理事業から長野市が離脱することに伴う財産処分の協議について（長野市豊野町分が離脱すること）
- 北信保健衛生施設組合のし尿処理事業の終了に伴う財産処分の協議について（中野市・山ノ内町が独自処理を行うため）
- 北信保健衛生施設組合規約の変更について（財産処分に伴う規約の変更）

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任
永井一雄氏を選任（押羽64歳）任期3年



生き生きと暮らせる

町を目標にして

議長 関 悦子

新年明けましておめでとうございます。平素から議会に深いご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、近年、私達を取り巻く環境の変化は激しく、特に最近は大規模な自然災害に見舞われ、当町も台風災害による被害が発生しました。被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

そんな中でも例年のように、多くの来訪者の皆様が町にあふれる光景を何度も目にすることがありました。活気に満ちた小布施

町の姿は、企業や町民の皆さんの長年の努力の現れであり、改めて、深く敬意を表します。

そして、私達一人一人がいきいきと暮らすことができる町を目指して生活することが、多くの方々に愛される町に繋がっているのではないかと思います。

今年には議会議員の選挙の年です。過去2回は無投票であった事を踏まえ、「議員のなり手不足検討会」を設け、様々なご提案をいただきました。本年の選挙では、その成果が現れることを心から期待しています。

本年も皆様方にとって、健やかな年となることをご祈念申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



- 政策立案常任委員長 関谷明生 議員
- 山崎博雄 事務局長
- 中村雅代 議員
- 総務産業常任委員長 小林一広 議員
- 富岡信男 議員
- 監査委員 大島孝司 議員
- 渡辺建次 議員
- 議長 関 悦子 議員
- 副議長 川上健一 議員
- 小林 茂 議員
- 議会運営委員長 小淵 晃 議員
- 小林正子 議員
- 社会文教常任委員長 小西和実 議員
- 祢津貴子 書記
- 議会広報常任委員長 福島浩洋 議員

平成30年10月18日開催

10月第2回会議

- ・一般会計補正予算（第7号）の歳入歳出それぞれ800万円を追加し予算総額を49億5,977万2千円とするもので、中条自治会・公会堂整備資金貸付金（台風21号被害によるもの）です。
- ・和解および損害賠償額の額を定める事について
町職員が運転していた公用車（軽）が個人運転の車に衝突し、人身と物件に損害を与え損害賠償額1,320千円余りを相手側に支払い、解決した件です。

10月18日市村町長に提出

平成31年度の予算要望書

・町議会では、議員間で討議を重ね、平成31年度の予算編成にあたり、下記の項目を提出しました。

【財政運営に関する3項目】

1. 現在使われていない施設や不要な土地の洗い出しを行い、有効活用の検討及び財産処分を進め財源の確保を図りたい。
2. 公共施設等総合管理計画事業実施については、個別施設計画を策定し一定の方向性を見出し、国の財政措置である公共施設等管理推進事業債も視野にいれ、事業の予算化を検討されたい。（平成30年度要望継続）
3. 納税相談や滞納者との折衝などの積極的な取り組みや滞納整理プロジェクト会議の開催をするなどして、町税等の未納額の削減及び不能欠損処理に至ることがないように努め、税等収入の確保を図りたい。（平成30年度要望継続）

【事業関連に関する項目】

4. パワーウォーキング、若者会議等のイベント事業及びブランド戦略事業においては、更なる事業の見直し・改善・廃止を検討し、より効果的な予算編成に努められたい。（平成30年度要望継続）

【教育関連に関する項目】

5. 保育士、幼稚園教諭及び放課後児童クラブ、子ども教室職員の確保が困難な状況が続いていることから、処遇改善などを検討し職員の確保を図られたい。

【健康福祉に関する項目】

6. 子どもの健やかな成長や発達を支援するために、乳幼児健康診査、子育て教室及び相談事業の充実連携を図り、病気や障害の早期発見・早期支援を図られたい。

【建設関連に関する3項目】

7. 通学路のカラー舗装などの整備促進を行い、子どもたちが安心して通える通学路の確保を図られたい。
8. 温暖化の影響等による大雨・集中豪雨は、全町的な雨水対策が必要な状況であることから、上流部・中流部・下流部のバランスがとれた整備を実施されるよう要望する。（平成30年度要望継続）
9. 除雪については、迅速な対応が必要であることから、住民生活に支障が無いよう排雪を含め当初予算の確保を図られたい。（平成30年度要望継続）

12月会議において2常任委員会の審議



総務産業常任委員会審査



社会文教常任委員会審査

懇談会

小布施町

教育委員の

皆さんと

11月12日

栗ガ丘小学校にて教育長から町の教育方針、校長より日頃の児童たちの学校生活の説明後「小学校の教育活動について」をテーマに授業参観の感想や様々な意見交換を行いました。報告の中で30年度の教育課題である「できた」「わかった」と喜びを実感できる学びをつくる。「何をどの様に学ぶか」を明確に支え合って学から、目指す授業として①「わからない」と自分から言え



栗ガ丘小の授業参観（英語）

る教室環境をつくる。
②教師は可能な限り児童が分かる環境をつくる。
③友達と支え合って、みんなで理解し好ましい人間関係をつくる。から・重点1（学びづくり）・重点2（体力づくり）・重点3（心づくり）・重点4（土台づくり）の説明を受け、六年生対象の30年度全国学力・学習調査では国語、算数、理科共、全国と県の平均回答数や平均正答率も上回っているとの報告、今後もあり、復習、家庭学習についてもしっかりと取り組む方針を聞きました。授業参観後の感

小布施町 土地改良区役員 の皆さんと 11月20日 JA小布施支所

想として①天候の関係が良く見えていない場所がある。②クラス33人、35人では教室が狭い。③英語の授業、児童たちにも解る様繰り返して教える。④教師の勤務時間の状況は。⑤子ども達の省エネ提案で休み時間の消灯実施、素晴らしい。⑥朝食対策は。等々があり最後に工夫された美味しい給食を頂きました。

小布施町 老人クラブ 連合会（老連） の皆さんと 12月18日 町公民館講堂

事業の報告また意見交換にて「34年度までの実施計画書と事業予定」資料を基に発表がありました。更に老朽化更新事業にかなりの高額工事発注が継続するため慎重に進めるためのコメントがありました。議会からは、議員なり手不足検討会を開催し選挙になるための集約をしています等の報告また日頃、改良区の皆さんの努力に感謝を述べ終了しました。

呉羽一布理事長から日頃からご理解の謝辞が有り続いてストックマネージメント事業における①事業概要「変更点」②30年度事業実施内容（県発注事業）③送水管布設状況と残

鶴田昭平老連会長から町内の高齢者数は人口の3分の1を占める程になり、ますます高齢者対策が重要になりました。老連への加入者も平成30年度は484人

となり昭和55年のピーク時、1700人の35%程になり大変杞憂しております。町行政、議会、自治会、コミュニティ他の皆さんの協力を更に深めていく必要を強く感じております。との挨拶の後、皆さんから、それぞれ意見交換のなかでの主な発言や要望として・老人クラブの名称を変えたほうが良い、名前のイメージが悪い（例えば、心のつながり他）、それぞれの研修や健康づくり時に町のバスを利用させて、・外出手段の不公平を無くすため町のバス利用の範囲を広げてほしい・老連支部づくりに町の力を・町の補助金の有り方に不公平感がある（入会していないとダメ）・会計監査を受けたいが専任の事務担当者が社協内に・桃源荘



老連と意見交換



Ⅰ 選挙制度の課題

現況

- ・立候補すれば即当選といったことはなくて、法定得票数が無いと当選できない。
- ・町長が無投票だから町議会も無投票になってしまう。

実施の課題

- ・法定得票数は、有効投票数を議員の定数で割って得た数の4分の1以上の得票となります。
- ・町長選 3期連続無投票

Ⅱ 議員を支える制度

現況

- ・現在の議員報酬では生活を立てられない。
- ・立候補しやすい環境整備づくりを。60歳以下の年代層が兼業できるようにする。
- ・落選し無職になるのは不安。兼業化し、兼業でも行っていけるようにする。

対応

- ・議員の厚生年金加入を求める。
- ・議員報酬生活給確保ができるように引き上げる。
- ・議員活動を支える制度。(ヘルパー等)
- ・なりたい人を支える。(投票・みこし担ぎ等)
- ・議員が少ない。コミュニティごとに人がついていて地域の問題を吸い上げる議員サポーターを付けてはどうか。
- ・事務局職員の増員を図り議員の負担を軽減する。
- ・勤め先の理解と応援を得る。
- ・議会と町民との共同政策提案が必要。政策サポーター制度の設置。

Ⅲ その他

現況

- ・小布施町は「観光ブランドという知名度という面」と「議員のなり手不足に困っているという」落差が激しい。
- ・社会の問題でなく個人の問題が大きくなった。

対応

- ・次回の選挙が終わりではない。長期的視点から立候補しやすい環境づくりが必要。

第4回「議員なり手不足検討会」(11月19日)報告書

◎第3回検討会の意見集約をふまえて、更にこれを町民の皆さんに見える化を推進するために。

1. 回覧板方式…町民アンケートでは、隣組回覧板が一番読まれている。
2. チラシ・アンケート方式…新聞や雑誌等配布時に色づりのチラシ公告に期待。

※検討会では、2班8人づつに編成し、それぞれ11月26日と11月30日各部会を開き資料づくりを行う事とした。

◎ 回覧チラシ作成部会 (11月26日)

- ・A4版用紙表だけとし、文言案を作成し再度、部会を開催し次回の検討会へ報告する。

◎ 回覧チラシ作成部会 (12月11日)

- ・A4版A案、B案、C案の3案が提出され検討の結果、部会ではC案が採用(カラー刷り)

◎ アンケート実施部会 (11月30日)

- ・町内の皆さんに見てもらうためにはどのような事が出来るか。
- ・なり手不足に関するアンケートを作成し皆さんの卒直な意見をいただく(アンケート案の作成 A4版6項目の質問)
- ・12月17日、第5回検討会へ報告する事になった。

第5回「議員なり手不足検討会」(12月17日)報告書

◎第4回検討委員会に於ける2部会で作成した、それぞれの(案)の発表と委員による意見交換を行ない、活発な発言が長時間に渡りました。一委員長の取りまとめに於いて一

- ・回覧板…全戸配布(A4版の大きさ)、カラー刷り、平成31年2月20日配布
※内容については再度部会で、本日の意見交換を加味する。
- ・チラシアンケート…全戸配布か、ピックアップ(400枚~500枚)とするか再度部会で、また6項目の内容も本日の意見交換を加味する。回収箱を町役場、コミュニティ、駅、郵便局、保育園他にお願いする。配布日は平成31年1月21日、A4版用紙無記名とする。

第3回「議員なり手不足検討会」(10月24日)報告書(全文掲載)

ア 議員活動の「見える化」

現況

- ・議員活動をどうやって表に出すかを検討すべきである。
- ・今の問題は個人に関わる事が多く、議員になって解決しようと思う大きな事案が見えづらい。
- ・議員が少ない。地域の問題を吸い上げる事が出来ていない。
- ・自分の声が反映される場がどこか分からない。
- ・社員の人が言いたくても言う機会がない。
- ・選挙になっていないため町民の関心が下がっている。
- ・町報を読む人より議会報を読む人が少ない。

※3グループ分けによるワークショップ型式

対応

- ・議員活動の広報をもっと出し、認知度を高める。
- ・なり手不足だという事を町民に知ってもらうためにアンケートを実施する。
- ・議員に立候補できにくい点は何かアンケート調査をする。(商工会等の団体に要請する)
- ・まずは議会(町政)に関心が持てるよう、町民の集うスーパー等に、コーナーを設置(PR掲示)し町政カフェをやる。
- ・行政によりそって貰い町報の議会関係の紙面を大きくする。
- ・コミュニティごとに話を聞く。議員は議会で聞いたことをコミュニティへ。フェイスtoフェイスで繋げる制度が良い。

イ 地域の中での議員の位置づけ

現況

- ・選挙は争いではないのに「争いをおこさなくても」という考え方。
- ・村社会の機能が壊れつつあるなかで、みこしの担ぎ手としての役割が困難及び疑問
- ・地域の中では中立的な立場が共感を得やすい。
- ・いまだに落選すると恥だというような村的思考が残っている。
- ・自治会内のしがらみ。(昔からのしがらみ)
- ・自治会内で立候補しやすい雰囲気をつくる事が大変。
- ・農協・青年部・労働組合等組織的な推薦を得て出馬していたが、今は組織的な推薦を受けることが困難である。
- ・昔から伝統のしきたりがあり縛られてしまっている。
- ・選挙に出るということで、地域の中の賛同を得ることは困難。

- ・中途半端な村意識、制度が足を引っ張っているのでは。
- ・議員定数の削減の中で地区から立候補しにくい状況になっているが再度自治会へ働きかけ立候補・推薦をする。
- ・住民の民度の問題、考えるのが嫌。(村社会：地区推薦)

対応

- ・自治会からの出馬の検討。
- ・各団体から出馬を打診。
- ・なって欲しい人に個別にアタック。
- ・人材を育てる。議員・議会についての勉強会(塾のようなイメージ)を立ち上げ、町民の議員なり手の潜在的な意欲を掘り起こす。
- ・なり手不足検討会からの出馬。
- ・まちづくり委員会への働きと出馬要請。

ウ 家族の中での理解

現況

- ・家族が反対。家族に対して負担がかかる。
- ・立候補者家族へのフォロー等、議員を支える制度が必要。
- ・子育て中は立候補とか考えにくい。

- ・女性にとって子育て、介護等はより身近に感じる課題である。

対応

- ・負担軽減。立候補できるように他市町村のサポーター制度を導入。



2つの各部会での(案)について意見交換 12/17



いかに町民の皆さんに見える化の意見交換 11/19

A 町国保会計で昨年度均等割1億1千万円、平等割5千5百万円。一般会計と国保基金から繰り入れて均等割・平等割を廃止し国保税負担を軽くすることは可能と考えます。

A 国保は応能分（所得割・資産割）と応益分（均等割・平等割）があり、地方税法で4方式（町の現在方式）、3方式（資



老朽化による損傷で
一次片側交互通行の小布施橋

Q 12月5日信濃毎日新聞に小布施が県下で一番国保税が高いとの記事。町民は驚き怒っている。

自民党政府は国保への国庫負担を削減し続け今や30%。加入者負担は倍になった。町世帯の45%が加入する国保は協会健保に無い「均等割」があります。一人いくらで課税し、家族子どもが多い程高くまるで古代の人頭税であり、子育て支援、少子化対策に逆行し、全国知事会も見直しを求めています。

A 以前のことはわからないが、今後の審議会で検討します。

Q 国保運営協議会で検討したことはあるか。文化の町から均等割は問題との議論を期待します。

産割を除く）、2方式（資産割・平等割を除く）があります。町の条例は均等割を必ず徴収するよう定め、応益分の廃止は違法で不適切。国の議論を待ち、検討すべき課題と考えます。

A 通報があり、連結部伸縮装置損傷により通行止めとなりましたが、現在は全面通行可。早期に本復旧工事と協議を進めているとの電話やメールで連絡がありました。

A 通行者から建設事務所に置かれたが、現在の全面通行可。早期に本復旧工事と協議を進めているとの電話やメールで連絡がありました。

小布施橋長寿命化と塗り替えは強く要望した。今回の損傷を踏ま

Q 11月15日、小布施橋全面通行止めの事態に対して、須坂建設事務所からどのような説明があったのか伺います。

9月会議で「小布施橋長寿命化対策をしっかりと求める」と答弁あったが、塗り替えの回答はどうでしたか。

A 通報があり、連結部伸縮装置損傷により通行止めとなりましたが、現在は全面通行可。早期に本復旧工事と協議を進めているとの電話やメールで連絡がありました。

A 高額なペナルティーをどう考えるか、もう少し精査して、踏み入って検討します。

Q 町の福祉医療費給付事業で、子ども医療費は病院窓口で無料となり大変喜ばれています。福祉医療対象である障がい者医療費も窓口無料にしてほしい。またも収入を得られず、生きづらい社会になっています。

A 福祉医療費の検討会で18歳を超える障がい者は対象とならなかった。

Q 障がい者医療給付も窓口無料にしてほしい

林健康福祉課長
国からペナルティーあり
難しい

A 町として県の建設部に今後何かあった時にきちんと話し合いをさせていただけようと思っています。

A 直接説明を求めるべきであり、反省します。

Q 町民と通行するすべての命に関する事です。町に対してメールや電話で説明とは何事か。

え安全にしっかり取り組みたい。

**国保税一人いくらの「均等割」廃止
県下一高い国保税額も見直しを
均等割廃止は法や条例に違反します
国保審議会に諮り検討します**

永井健康福祉課長補佐
小林正子議員

政策立案常任委員会審査（12月12日）陳情者1団体

陳情第1号

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

陳情趣旨要約 ・医療や介護現場での人手不足はいまだに深刻な状態にあります。人手不足により一人一人の過重労働がすすみ過酷な夜勤や長時間労働などが解消されずに医師や看護師の過労死を引き起こす事態が続いています。そのために必要な人員の確保を国の責任で実行されることを強く求める。

○本会議（最終日）にて採択
○議長名で地方自治法第99条の規定により意見書を内閣総理大臣・厚生労働大臣他3大臣に提出する事を採択

○=賛成, ●=反対, - 議長は裁決に加わらない

| 本会議で賛否が分かれた議案 | | 中村雅代 | 福島浩洋 | 富岡信男 | 小西和実 | 川上健一 | 山岸裕始 | 小林茂 | 小林一広 | 小淵晃 | 渡辺建次 | 関谷明生 | 関悦子 | 小林正子 | 大島孝司 |
|---------------|----------------------------------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|-----|------|------|
| 陳情 | 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ |

不穏当な一般質問に対する嚴重注意

議会12月会議一般質問「出生率を上げる施策は」の発言中、一部不穏当な発言がありました。このことは、町民の皆様にご不快な思いを抱かせ、議員としての配慮に欠けるものであり、議長から嚴重に注意をしました。改めて議員の職責及び議会の責務を認識し、町民の皆様の負託に応えるよう努めてまいります。

議長 関悦子

12月会議 一般質問 目次

| | | | |
|------------------------------------|----|--------------------------------------|----|
| 小林 正子 | 9 | 福島 浩洋 | 14 |
| (1)障がい者医療費の病院の窓口無料化を | | (1)公共施設の長寿命化促進について | |
| (2)国保税の「均等割」「平等割」の廃止を | | 中村 雅代 | 15 |
| (3)小布施橋の対応について | | (1)職員の働き方について | |
| 小西 和実 | 10 | (2)特殊詐欺の現状と対策について | |
| (1)職員派遣研修等の必要性について | | 関谷 明生 | 16 |
| (2)国内外の都市などと姉妹都市の締結は | | (1)農業女子PJ（プロジェクト）との連携は | |
| 大島 孝司 | 11 | (2)「北斎サミットジャパン委員会」との本町の関わりは | |
| (1)「持続可能な開発目標SDGs」の当町の取組は | | 小淵 晃 | 17 |
| (2)小中学校の夏休みの延長は | | (1)水道管の経年劣化による破裂の恐れは | |
| 小林 茂 | 12 | (2)小・中学校に色覚チョーク（色覚障害対応のチョーク）の導入を | |
| (1)健康増進法の一部を改正する法律に伴う町の受動喫煙対策は | | 山岸 裕始 | 18 |
| 渡辺 建次 | 13 | (1)小布施ハイウェイオアシス駐車場の混雑解消について | |
| (1)監査委員指摘事項のその後の対応について | | (2)法律で市町村が行うべきと定める事業については出来る限り制度の利用を | |
| (2)無料駐車場の設置目的と現状の問題点は | | 富岡 信男 | 19 |
| (3)観光客への対応について | | (1)ブランド戦略事業の成果と町振興公社の運営について | |
| (4)歩道の自治会初期除雪としてラッセル式雪押し分け器の使用について | | 川上 健一 | 20 |
| | | (1)出生率を上げる施策は | |



小西和実議員

職員派遣研修等の

必要性について

人材獲得や派遣ができるよう 検討していきたい

Q 小布施町の将来を担う人材の育成・教育という観点から、現在の取組みが優れている他市町村や、町として学びを得たい他市町村への職員の派遣や人事交流など、あるいは国からの人材の獲得や派遣が必要であると思われま

A 小布施町においても、今後も民間企業や県、国との協働が重要であり、若手職員の皆さんに企業での職務遂行を通して、民間感覚を磨いて視野を広げるなどといったことも必要ではないかと思われま

県や市町村の派遣や人事交流につきましても、町の限られた職員数の中からとはなりますが、将来の小布施を担う職員の資質の向上、職員としての幅広い交流関係の構築のためにも、今後人材獲得や派遣ができるよう検討してまいりたいと考えております。

国内外の都市などと 姉妹都市の締結は

西原企画政策課長 姉妹都市提携のお話がいた だければ検討していきたい



H-LABのような疑似体験だけでなく、本物の経験も必要

こういった派遣や人事交流を育成・教育という観点から実施していくことの必要性についてどう考えているでしょうか。現在の育成・教育体制を踏まえながら、明示してください。

A 市町村を包括する長野県や大規模な横浜市の事務事業を経験することで、組織のあり方や異なる視点で行政運営を行う他市町村等の事務を経験すること

ともに、職員同士の交流、派遣先とのつながりが生まれることで交流を通じて町の業務に活かされることも考えております。

Q 小布施町が国内の魅力ある自治体あるいは海外の魅力ある都市や町村などと姉妹都市の提携を結ぶということも、小布施の魅力を作っていく上では良い取組みになるかと考えられます。先日、長野市から姉妹都市のアメリカ、フロリダ州クリアウォータリー市に派遣された長野市立長野

高校の生徒5人が市役所で加藤久雄市長らに帰国の報告をしたと話題になりましたが、リアルな国際社会を体験するという上では、こういった高校生の派遣なども重要な取組みです。

A グローバルな視点で世界とつとっていくことは重要と考えております。グローバルな活動をされている企業や大学とも連携した事業を推進しておりますし、H・L・A・Bを開催することによりグローバル教育にも力を入れていきます。また語学力も含め、職員のグローバルな対応力も必要になってきています。姉妹都市を締結することの考えですが、姉妹都市提携をするために活動することは考えていませんが、様々な事業を連携する中から姉妹都市提携のお話があったるのであれば締結していくことはあると思っております。



大島孝司議員

持続可能な開発目標SDGsの

当町の取組は

多くの施策や取組がSDGsに結びついている

Q 国連において「持続可能な開発目標SDGs」が示され、国においてもSDGs推進本部を設置し、実現に向けた取組を進めています。自治体におけるSDGsの推進は、自治体の一層の活性化や地方創生に繋がっていく

長野県も「SDGs未来都市」として、平成30年6月に選定されました。当町の取組について伺います。どの目標に重点をおいているのか。達成状況をどのように「見える化」するのか。国の情報支援「地域経済分析システム」の活用は。国の人材支援「地方創生人材支援制度」の活用は。国の財政支援「地方創生推進交付金」「まち・ひと・しごと創生事業費」「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」に対する当町の見解は。

※SDGsとは、地球上の誰一人として取り残されないことを誓う世界標準的な取り組み

A 多くの施策や取組はSDGsに結びついています。重点においているのは「どなたにもやさしいまちづくり」施策、新たに始める再生可能エネルギーを地域でつくり循環させる施策などです。今後改定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「総合計

小中学校の夏休み延長は 中島教育長 慎重な中にも、スピード 感を持って検討していく

Q 長野県の小中学校の夏休みは全国的にみて、かなり短い。県教委は11月9日「夏休み期間のあり方検討委員会」で公立小中学校と県立高校の夏休みを延長する方向で市町村教育委員会や

各学校に検討を促すと決定しました。延長の日数の目安は示さず、各学校がそれぞれの実情に合わせて決める方針とのことです。小布施町の小中学校の夏休み延長に対する見解を伺います。栗ガ丘小学校、小布施中学校それぞれ何日夏休みを延長するのか。段階的に延長していくのか。年間の授業時間数の確保はどうするのか。共働きの家庭の子どもの居場所づくりは、どうするのか。小学校では英語の教科化が全面实施され、授業の過密化が予想されるが、対処は。音楽会や運動会などは、十分な練習をしてこそ充実したものになるが、練習時間を十分に取れる授業組み立てができるのか。幼保への波及は。

A 夏休み延長は、年間授業時間数の確保などについて、小中学校とよく協議したうえで、慎重に対応します。現行の「放課後児童クラブ」や「子ども教室」に加え「地域の中での探究的な学び」につながるような取組について検討し、学校行事については小中学校と協議していく。幼稚園はあるが、保育園への波及はない。



栗ガ丘小学校の音楽会

栗ガ丘小学校の音楽会



小林 茂議員

受動喫煙対策「町の姿勢は」

林健康福祉課長

例外なき禁煙を基本に進めます

Q 多くの人たちが集まる建物を罰則付きで禁煙とすることを柱とした、受動喫煙対策を強化する健康増進法の一部を改正する法律が平成30年7月25日公布されました。

小布施町の受動喫煙対応は「愛煙家にやさしく、吸わない人にはもっと優しいまちづくり」を基調に、小布施らしさを考慮した対応策を講ずべきと思うが取組みに対する町の受動喫煙対策の基本姿勢は何か。

施行スケジュールは準備期間を考慮して、2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに段階的に施行するとなっているが、町の具体的なスケジュールはどのようなになっているのか。

A タバコは「百害あって一利なし」と言われるように、喫煙者本人にとっても、またその周囲の人にとっても健康に悪いものであり、小布施町においては、例外なき禁煙を基本に取組みます。

喫煙者に対しては禁煙を呼びかけ、どうしても喫煙したい人へは、例え吸ってよい場所であっても、絶対にその煙を周囲の人に吸わせ

ないという基本的なマナーを身につけていただくことが重要であると考えます。

町においても2020年のオリンピック・パラリンピックまでに完全な分煙に取り組みます。

Q 来訪者の多い地域や区域ではタバコによるトラブルを未然に防止するためにも、歩行中の禁煙やポイ捨て禁止。受動喫煙防止区域等の整備・ルール作りも必要ではないかと考えるが。

A 町民の皆さんのご意見を聴きながら、総合公園などの公園敷地内や観光に多くの皆さんが訪れる町中心部などを重点区域に指定するなど、町内に屋外での喫煙を禁止する区域を設けることについて、条例制定も見据えて積極的な取組みを行います。

Q 家屋内、車中において、自力で煙を避けることができない乳幼児、施設などで病弱者等が望まない受動喫煙を防ぐため

の総合的・効果的な対策と日常的な啓蒙運動の在り方は。
不特定多数の人が利用する公共施設・民間事業所、課題が多く対応が難しいといわれる比較的小規模な飲食店等の分煙対策に対する経済的支援策についての対応は。
A 乳幼児等の受動喫煙を防ぐために、母子保健での両親学級に家庭での禁煙の重要性を伝え、対応していきます。病弱者等の望まない受動喫煙対応も、医療機関やタバコ販売店とも連携し、受動喫煙防止に向けた啓発活動の取組みを行います。飲食店等の事業者の皆さんにも、完全な分煙の取組みを進めます。そのために町として個別の事業所等にどんな支援ができるか検討していきます。



Aを使用することを基本とする。マークの最小サイズは、BまたはCとする。



受動喫煙のない社会を目指す運動のシンボルとして、この運動に賛同する個人・団体、組織がその意志を表明するために使われる。



渡辺建次議員

監査委員の指摘事項のその後の対応について

久保田副町長

それぞれについて真摯に対応しています

Q 個人住民税と軽自動車税の未納の主な原因とその対応策は。

A 個人住民税では、修正申告によって、さかのぼって課税されるケースが、新たな未納の主な原因です。軽自動車税については、町外へ転出された未納者が目立ちます。未納への対応策は、催告書の発付や納付相談を行うなど粘り強く納付の交渉を続けてい

く以外ありません。

Q 保育士や幼稚園教諭、保健師確保のための処遇改善などの整備体制は。

A 報酬額等の改善を図り、保育士は正規職員を増員している、必要な人数の確保に努めています。

Q 図書館「まちとしょテラス」の新館長就任における新たな施策は。

A 115万円、収容台数は32台です。個人が無断で私的にガレージ化している現況に対して対応策は。

A 目的外利用に対しては、本来の設置目的を立て看板等で周知徹底します。

Q 観光客のおもいやり対応について、歩行者へのおもいやりを促すよう対応したい

A 新館長は、宮城学院女子大学特任教授の桂啓壮さんです。取り組んでいることは、町内刊行資料の網羅的収集やデジタル資料への対応、住民への図書館活動のお知らせ、レファレンス(図書館利用者への情報提供)の充実などを挙げられています。

Q 混雑時の駐車場不足に対応しての対応策は。

A 無線による連携体制なども検討していきます。

Q 歩道でのグレーチング蓋における、車椅子や乳母車の車輪が落ちる事故などへの対応は。

A 車椅子等の通行に支障がないよう見直しがされてきていますが、なお一層の安全性への対応を検討します。



商品化されているV字型雪押し分け器

Q 車による歩行者への水のね防止対策は。

A 同報無線などで注意を促していきます。

Q 歩道の初期除雪としてラッセル式雪押し分け器の作成と使用について

A 商品化された物もありますが、相談等があった際にはお話を伺いたいと思います

Q V字型の雪押し分け器をDIYで作成し、使用することで、省力短時間で歩道の初期除雪が可能です。作成を推奨してはどうですか。

A 高齢化が進むなかでは有効なものと思いますが、商品化もされているので、相談があった際一つの方法としてお話ししたいと思います。

無料駐車場の設置目的と現状の問題点は

富岡産業振興課長補佐

駐車場の設置の目的を理解していただけるよう周知徹底したい

Q 無料駐車場である上町南公園駐車場の設置目的、敷地面積、借地料、駐車収容台数は、設置目的は、南公園利用者や観光客のためです。面積は1479㎡で借地料は年



福島浩洋議員

公共施設の古い建物の長寿命化

推進はどの様に進めるのか

個別施設計画を作成し 方向性を決定してまいります

中條総務課長補佐

平成29年3月に発表された白書、小布施町公共施設等総合管理計画において、各種長寿命化計画・維持管理等の内「建物施設」で現在も大切に利用されている古い建物では、歴史民俗資料館・音楽堂・桃源荘、また小布施消防分署は、建て替えるか耐震補強をしても継続させるべきと考えるが基本的な推進計画は。

歴史民俗資料館、音楽堂、桃源荘、小布施消防分署の施設について今後検討してまいります。桃源荘と小布施消防分署については、大規模な修繕等を行い継続させていく施設として捉えています。音楽堂や歴史民俗資料館も大勢の人たちが利用され、文化的価値ある施設と認識しており継続させていく可能性が高い施設と捉えております。

白書では今後40年間の対象としているが、その根拠はどこから算出したのか。

一般的に高度成長期およびバブル期に整備された建築系公共施設の40年経過しての改修時期や土木系施設の補修時期が今後30年の間に集中することから計画期間を30年〜40年間とする自治体が多く、当町でも40年間としました。

平成30年度のこの時点ではすでに結論が出され

今年度中に個別施設計画の原案を作成し、来年度(31年度)には更新・長寿命化などについて一定の方向性を示していきます。また関係する方のご意見をお聞きし、町民の皆さんへお知らせも併せて進めてまいります。



桃源荘ゲートボール場全景

今年度中に個別施設計画の原案を作成し、来年度(31年度)には更新・長寿命化などについて一定の方向性を示していきます。また関係する方のご意見をお聞きし、町民の皆さんへお知らせも併せて進めてまいります。



消防小布施分署外壁



音楽堂練習風景



歴史民俗資料館での講演会



中村雅代議員

職員の働き方について

田中総務課長

「働き方改革プロジェクト」では、町独自の働き方改革に取り組んでいます

全国的に働き方の改革が叫ばれている中、当町においても、職員の時間外勤務の縮減や非正規職員の待遇改善など、働きやすい職場づくりに取り組まれ、「働き方改革プロジェクト」を設置し、検討されているとのことですが、働き方の改革と勤務環境の整備等について伺います。

特殊詐欺の現状と対策について

林健康福祉課長

特殊詐欺に遭わない取組を関係機関と連携していきます

特殊詐欺に遭わない取組を関係機関と連携していきます。



訓練型 出前講座



関谷明生議員

農業女子PJはアイデアと行動力があり 活躍に期待できるが、連携は 情報発信に取り組んでまいります

竹内産業振興課長

農業女子プロジェクト活動の

Q 「女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ新たな商品やサービスを生み出す」「農業で活躍する女性の姿を広く情報発信し、社会での存在感を高める」「職業として農業を選択する若手女性の増加を図る」を目的に「農業女子プロジェクト」



入浴施設に出店しているブース

「クト」が平成25年にスタートしました。農林水産省が主管で長野県も独自のプロジェクトを立ち上げ支援しています。国・県の具体的な取り組みと地元自治体との連携は。町内の参加者の状況はどうですか。

A

プロジェクトにおけるこれまでの成果では女性でも扱いやすい軽トラックやトラクターの開発紫外線対策のメイクセミナー、衣類の泥よごれに対応できる洗濯機の開発など、女性の視点に立った商品開発がなされています。また毎年能力アップ研修、女子プロジェクト推進会議、各種セミナー等開催し農業ビジネスの展開を図っています。長野県では農業フォーラムや販売強化を目的としたマルシェ出店活動支援事業や、新たな人材育成に向け農業体験バスツアー、就農相談会の開催に取り組んでいます。農業女子プロジェクトと各市町村との協働

制の実例は把握していません。本町では1名の参加者ですがアパレルの経験を生かし農作業用の女性向けグッズの販売を手掛けたことからの、協力を求められた際はご支援をしてみたいです。

「北斎サミットジャパン委員会」との本町の関わりは

久保田副町長

「北斎サミット」等イベントに参加協力していきます

Q

2019年は北斎の170回忌にあたり、2020年は東京オリンピック・パラリンピックを控えています。そこで北斎を日本の誇りに、その偉業と業績を国内外に周知するため、「北斎サミットジャパン委員会」の設立が発表されました。具体的には次の3点本町の関わりを伺います。①今年度実施された墨田小布施北斎巡礼250キロ世界大会の評価は。②



小淵 晃議員

水道管の経年劣化による破裂の恐れは 畔上建設水道課長 年度ごとの更新計画をたてて 水道を守ります

Q 水道事業は水道法と地方公営企業法で「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する。また公共の福祉を促進するように」とうたわれています。

水道は私たちが生きてゆくなかで極めて大事なものです。小布施町の水道事業は歴史がありますので経年劣化による破裂の恐れはありませんか。

①現在使用されている水源（都住・裏町・大日堂・中松）の深井戸での取水所から水上地区の浄水場までの導水管、水上地区の浄水場から配水場までの送水管の敷設経年は何年になりますか。

②配水場から利用者まで間の配水管は、町内全域で延何キロメートルですか。

③配水管の破裂は、破裂による噴水で近隣住宅への浸水被害に加えて、断水による一般家庭の被害の両方があります。水道管の耐震性に富む長寿命化工事、敷設替え等の計画は怎么样了なっていますか。

A ①水源から浄水場までの導水管は敷設後39年から45年を経過しています。浄水場から配水場までの送水管は敷設後24年

から30年を経過しています。

②町内全域の配水管の距離は79キロメートルです。

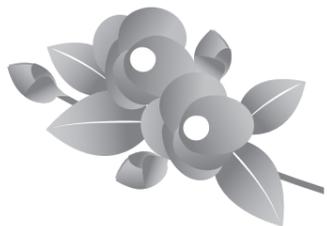
③適正な更新計画を立てながら、敷設年数の古いものや重要管路の経過年数を考慮し、順次敷設替えに取り組んでいきます。

小・中学校に色覚
チョークの導入を
三輪教育次長
直ちに導入したい

Q

平成15年に文部科学省が策定した「色覚に関する指導の資料」において「黒板で使用するチョークは白と黄のチョークを主体に使用します。黒板上に赤、青、茶色などの暗い色のチョークを使用すると、見えにくいため、避けるように」と記載されています。小学校・中学校には、色の違い

来年4月18日の北斎の没後170周年に向けての役割は。③全国北斎観光コンベンション設立への寄与は。A 北斎サミットジャパン委員会代表は「知られざる北斎」の著者神山典士さんで、来年北斎170回忌を記念し北斎をテーマに日本中に機運を盛り上げる一つのイベントでありました。墨田区と小布施町の繋がりを確認でき、北斎を日本をはじめ世界に発信する機運の醸成を高く評価しています。また記念事業として、北斎サミットジャパン委員会が主体となり「北斎サミット」を静岡県富士市で企画していると聞いています。イベント実施に向けたお話があれば協力参加したいと考えています。北斎観光コンベンション設立も連絡がありましたら協力参加を検討します。



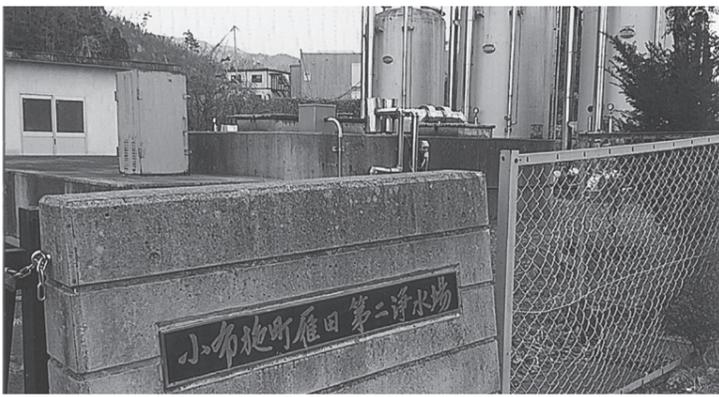
を判別しにくい色覚に障害のある生徒もおられます。そのような生徒でも色の違いが識別しやすい赤、青、緑、黄の色覚チョークが近年開発され販売されています。価格は現在使われているチョークより多少は高いが大した金額ではないので、当町の小学校・中学校で採用されることを望みます。

A 文部科学省の資料によると、およそ男子の5%、女子の0.2%に色覚に異常が見られるとのこと。

当町の小中学校では黒板への書き込みの際には誰でも識別しやすい配色で構成するとともに、下線や囲みを付けて色以外の情報を加えるなどの工夫をしています。

また、各教室に設置したプロジェクトを使用する際にも、色や形がはっきりとわかるよう同様の配慮をしています。

ご提案の「色覚チョーク」については、町の小中学校ではこれまで使用していないが、学校現場の意見を聞いて導入します。



浄水場と貯水場 全景（水上地区）

A ①水源から浄水場までの導水管は敷設後39年から45年を経過しています。浄水場から配水場までの送水管は敷設後24年



山岸裕始議員

小布施ハイウェイオアシス 駐車場の混雑解消は 町と企業で連携・調整して対応します

畔上建設水道課長

Q 小布施総合公園は多くの方にご利用をいただいている。

土日や秋の行楽シーズンは駐車場が満車となってしまうため、平成25年度には飯田大島共有地を整備、またその後土地をお借りして普通車200台ほどの駐車場確保を行った。

しかしながら、まだまだ混雑するシーズンには駐車場が足りないのが現状である。

駐車場の利用は公共福祉のためと考え、企業の従業員については別の場所を用意してもらうための検討を。

A 従業員の駐車排除ということだけでなく、駐車場所について、公園に来る人の支障とならないよう、町と企業で連携・調整して対応していきたい、また企業の皆さんにも公園施設の更なる魅力アップ・充実に協力をお願いしていきます。

Q 先の回答のように「公園に来る人の支障とならないよう」職員が配慮してくれているなら今回の質問に至ってはいいない。駐車場が混雑している際、駐車場係に毎回クレームがあるのは「早く停められないと遅刻してしまう」という従業員からである。従業員の出勤については企業が責

任を持って対応していただきたいので、現状を把握の上、企業のモラルとマナーに訴えていただきたいが。

A 初めて聞いた話で現状把握が出来ていない。調査の上、必要があれば企業としっかり話し合いの場を設けていきます。

法律で市町村が行うべきと定める事業については出来る限り制度の活用を

中條総務課長補佐

県との人事交流等を進める中で、職員の情報収集力を磨いていきたい

Q 一般的に市町村財政のチェック体制は、主に担当係(課)が主体となって情報収集し、並行して財政係(課)もチェックします。どの市町村も限りある財源を有効に使うために、制度をきちんと活用し、事業実施のため

に有利な財源がないか努力して探しています。

制度が変わる時などは、県等が説明会を行います。

今後、国の制度を活用できるにもかかわらず一般財源からの支出がないようにと考えています。

(1)県や国から職員を招き、徹底的な見直しを行う考えは

(2)予算編成に対し「(仮称)小布施町財源確保検討会議」の立ち上げに向けた検討は

A 県の補助金や交付制度に精通されている方全員に依頼することは難しい。また、「小布施町財源確保検討会議」を立ち上げることは実務上難しいと考えます。

まずは県との人事交流等を進める中で、職員の情報収集力を磨いてまいります。



るなど生産者のご理解を得る中で改善に努めてまいります。

Q 振興公社は、地域の経済発展と活性化を図るため、地域産業の振興、地域資源の活用、花のまちづくり事業を行うとして

います。市村町長は町長就任時に振興公社を利益を上げる組織にしていくとの公約があったかのように記憶しています。公社の現状を見ますと利益が出ていない状況で、運営の抜本的な見直しが必要かと思いますが考えを聞かせてください。

A 公社の近年における決算状況につきましては、平成24年の一般財団への移行に伴い、今年度までに町への寄付、あるいは公的活動を行うことで町が出資した資本金の全額を償還、還元しなければならぬとの規定に縛られた面もあります。

今後は、町内の農家で組織する新しい農業の在り方プロジェクトの皆さんとも連携、農産物の販売強化や花き事業の拡大など地域産業の活性化につなげることができるよう取り組んでいきます。



富岡信男議員

ブランド戦略事業の成果と 町振興公社の運営について

竹内産業振興課長

産業の活性化に取り組んでいきます

Q ブランド戦略事業については、自立の町を目指す小布施町にとっての最優先課題である産業振興につなげるとして取り組んできています。

平成23年12月会議に一般質問、ブランド戦略事業の今後の見通しについての答弁では、「ブランド戦略事業は単なる販売だけでは

なく、小布施町の社会からの認知、信頼、信用度のアップを図り、商品と町の知名度の向上、さらに収益の向上が目的であり公社に委託している事業としてブラムリー、チェリーキッズなどを各地で開催されるイベントへの出店など町内企業と連携し、様々な事業に取り組んでいきます。

今後の出荷見込みに

ついては、ブラムリーは、現在オーダーが600件を超えていて、全国のお客様に対応できない状況で、栽培面積10ヘクタール、生産量250トンから300トン、市場販売価格で1億円を目標にしています。チェリーキッズは、成木で増収となり2千万円までは考えています。」とのことでした。毎年振興公社への委託料として1千万円前

後の委託料が支払われていますが、委託料の総額と販売金額、出荷量について聞かせてください。

A 平成21年度から今年度までの10年間における事業委託料の総額は1億2千230万円です。ブラムリーやチェリーキッズの仕入れや加工委託費などのほか、人件費や光熱水費等の経費も含まれています。

ブラムリー、チェリーキッズの販売総額は、ブラムリーが平成26年度から今年度までの5年間で4千53万円、年平均800万円となります。チェリーキッズは平成22年度から今年度までの9年間で1千188万円、年平均132万円です。

栽培面積、出荷量につきまして、ブラムリーは、栽培面積2.35ヘクタール、収穫量35トンで、チェリーキッズは、3.7トンの収穫量です。

今後は一定額での仕入れ方法を改め、販売額に基づく仕入れとす



販売強化が望まれる6次産業センター



川上健一議員

出生率を上げる施策は

西原企画政策課長

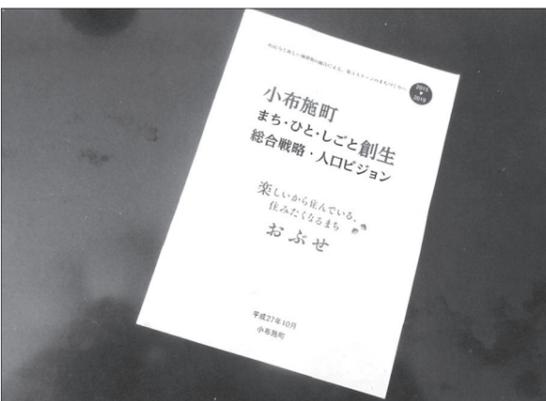
今年度から新たに 少子化対策事業を進めています

Q 小布施町は平成27年10月、「小布施町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略・人口ビジョン」を策定し、人口減少に対し、小学校・中学校一学年100人を維持することを目標にいくつかの事業が進められてきました。

この総合戦略の中で、5年を目標年度として合計特殊出生率1.5に始まり様々な数値目標が示されて

おり、来年がその目標年度となります。小布施町の人口で見ますと、平成27年4月の人口は1万1千232人で、今年4月では1万1千9人と23人減少となっています。平成31年の小布施町の人口目標値は1万540人で、来年の4月までに469人以上減少することは考えにくく、目標値は達成されるものと思いません。

析しています。また総合戦略の基本的な考え方のビジョンの中で「出生率の上昇に向けた施策と社会増をもたらす施策の両方に取り組みます。」としています。基本的には出生率が上がることで、人口増に向けた一番力強い動きではないかと考えます。



平成27年に示された小布施町人口ビジョン

この11月の人口は1万1千18人で4月より9人増加しています。出生率が上がらない現状の中、自然減は避けられないことから、転入者による人口増が9人増の要因と考えられます。4月より若干でも増えているのは嬉しい事です。

町は総合戦略の自然増と社会増の分析の中で、「人口対策としては、出生率上昇に向けた施策よりも、社会増をもたらす施策に取り組む方がより効果的である」と分

(1)小布施町の合計特殊出生率は平成27年より上昇しているのか。
(2)出生率が上がる有効な施策は進められているのか。
(3)平成27年以降昨年までに生まれた子供の数は増えているのか。
(4)社会増に向けた取り組みも進められているが、宅地造成の取り組みは。

A (1)市町村単位の合計特殊出生率は5年間の平均で算出公表されるため、平成27年度以降の合計特殊出生率は公表されていません。

(2)「定住促進補助金(廃止)」、「移住促進補助金」、「空き家活用等補助金」の各種助成制度。今年度から新たに少子化対策事業として、二世帯住宅や市街化調整区域への住宅新築に対する補助29歳以下世帯を対象とした家賃補助の助成制度を設け、第3子以降のお子さんが小学校入学時、学用品購入などにお使いいただける商品券を交付する事業を進めています。

(3)平成27年度は71人、平成28年度72人、平成29年度54人、今年度は11月末までですが45人という状況です。小布施町でお生まれになるお子さんの人数は減少傾向にあります。

(4)町による宅地造成は行っておりません。農村集落の宅地造成については、長野県とも定期的に協議を進めており、土地利用の問題は必ず突破していかなければならない優先課題と位置付けています。空き家の活用による移住定住の促進も同時に考えてまいります。

活動日誌 研究会 視察

栗が丘小学校
音楽発表会
10月26日

鳳凰アリーナにて1年生から6年生それぞれ楽器を使つての合奏や合唱、なかでも1年生の一生懸命な姿や金管バンド演奏もピツパリと息が合つて感動でした。また、八木節・おどるポンポコリン・ドラえもん他バラエティに構成され大変好評でした。最後の全校

須高市町村
議会議員
研修会
11月5日

児童による合唱曲「心の中にきらめいて」は参列のご家族からも感動の拍手でした。ゲストの教職員の先生やPTA役員のコーラスも日頃の成果、爽やかでとても良かった。特別参加中学3年生の合唱曲「朝もや」まさに青少年のすがすがしさを感しました。

高山村保健福祉総合センターにて「長野地域連携中枢都市圏の現状と展望について」と題して、加藤久雄長野市長が長野市を中核としその周辺、小布施町を含めた計9市町村の取り組みについて、ますます高齢化と人口減少の現在は、自分の地域は自分で守る・自分



須高市町村議員研修会

の健康は自分で守るをモットーとしながらも連携中枢都市圏でスクラムを組み国や県への対応は必須とし公共インフラ整備、所得格差、雇用促進、就労支援、小中学校エアコンやトイレの整備、全面禁煙による平均寿命の延長、他をギブアンドテイク、ギブギブを持つて将来に向けて立ち止まらず進めていく事が大切とし、年齢の事を思ったらダメ、元気で仕事をこなす事又、高齢者は75歳からを提案、長寿命県の長野から発信したい等々を身振り手振りでの好講演でした。

ふるさと交流
東京小布施会
11月8日

午後4時より同会副会長が開会宣言、町長から30年度の方針と10年後を目指した町内整備等、「ふるさとだより」の発表後、自然電力(株)社長より松川水流を利用した小水力発電を立ち上げ(11月より営業)の経過と、世界に於ける自然エネルギー利用と日本の立ち遅れについて、国内に利用可能な資源が豊富に存在する事の認識についての講演後、女性コーラス(町内25人)による合唱、感動とアンコールにより第一部終了、お待ちかね二部懇談会を同会役員による開会宣言と会長挨拶、一年ぶりの再会、初めての参加のひとやミニクラス会やら、また蒸した小布施丸なすのお焼きや各料



ふるさと交流会

理、ワイン、お酒、ビール他にて大変な賑わいに、終盤になりお肴話・信濃の国の大合唱、万歳三唱にて終了、91人が参加しました。

地方自治
政策課題
11月16日

県庁講堂にて地方自治が当面する政策課題について、講師二人を招いての講演
◎前半は岡本直之氏(財務省統括審議官)の「SDGs」による地域活性化に向けた地方公共団体のアプローチ」地方創生の取り組みとして東

京一極集中の是正に向け地方への新しい人の流れや魅力ある町をつくる他、国の施策方針資料を基に説明を受けました。
*「SDGs・エスディーズ」とは、持続可能な開発目標、地球上の誰一人として取り残されない事を誓う世界標準的な取り組みの事をいう。

◎後半は、阿部勝也氏(国土交通省道路局室長)「中山間地域における自動運転サービス実現に向けた取り組み」特に中山間地域の現状と課題について、全国の10年先を行く高齢化の進行・公共交通の衰退し買物や病院に行けない・車の運転が出来ない高齢者の急増・トラック運転手不足で物が届かないなど他、将来の課題を資料に基く説明をうけました。

特集

議 会 傍 聴 文 感 想

栗ガ丘小学校6年生
平成30年12月6日、7日に、6年生が授業の一環で小布施町議会の一般質問を傍聴、皆さんメモを取りながら真剣に傍聴していました。紙面の都合で、ごく一部ですが感想文を掲載しました。



6年2組の児童さんたち

無料化についてと国保税「均等税」「平等割」の廃止について質問していた。質問するとき現在の状態や実際に聞いたこと等を挙げて質問していた。

今回、議会を見学し

て自分の意見を通してもらうというのは相当な説得力が、必要だということが、分かった。また、難しいことを話していたけどすごく大切だった。

いろいろな事を行っているという事です。最近、女性の方で農業をやって「NJ☆北信」というのをつくり地元スーパーや温泉移設にブースを設けているそうです。女性の方で県外まで広めていてすごいと思います。他にもメンバーの暮らしなどもお互いに特技を活かした活動の開発を目指しているそうです。このことを聞いて私は、女性にしか出来ない事や女性だからこそ出来る事をこの仕事に活かしたりして、女性にとってもいいことだし、働きやすいかん境に

なっていると思うし、これをする事で地域の人と良い関係になれるからいいと思いました。議会見学をして

今回の議会の話し合いをばくは生活でも生かしたいと思いました。なので話し合いをする際は議会のことを思い出すように工夫したいです。



いきの合った合唱(父母会と先生方)

議会見学に行ってみて

6の1 大久保萌璃

十二月六日私が、議会見学してみて感じた事は、「町の議会で、こんなに大人でも難しい事を話しているんだから、国会ではもっと難

いたので、私にとってもうれしい事だなと感じました。また、長野県の国保税が一番高いのは、小布施町という事に、おどろきました。ふつうは、約9万円ぐらいなのに小布施町は、約11万円もはらわなくちゃいけないのは、町民の人々が、おこるのもちよつと分かるかなと思いましたが、このよ

会では、小布施町のどんな事について話し合っているのか、よくわからなかったけど、町をもっと良くするために開かれるのは、知っていました。そして議会場では、議員の質問とその答弁を聞きました。質問時間30分は、タイマーで計っていました。質問する人も、答弁する人も難しい言葉を使っているけど、ゆつくりと、はっきりとした声で話していたので、とても聞き取りやすかったです。それに、話の進め方も、とても上手でした。再質問がすぐできるとい

してマナーもしっかりとしていて、議会見学に行つて改めて、議員は、すごいと思いました。



6年1組の児童さんたち

の医療費については、私のお母さんも話して、聞いたので、私にとつてもうれしい事だなと感じました。また、長野県の国保税が一番高いのは、小布施町という事に、おどろきました。ふつうは、約9万円ぐらいなのに小布施町は、約11万円もはらわなくちゃいけないのは、町民の人々が、おこるのもちよつと分かるかなと思いましたが、このよ

議会見学で学んだ事
6の1 小林 舜昌
町役場に行つて、議会も見学しました。議

6の1 池田 悠人
今回、僕たちは小布施の役場で議会を見学した。会場に入ると静か

町の議会を見学して

6の3 中島 慶太

ぼくは、町の議会を見学して議員さんの町への思いがすくわかったです。議員さんの話が町の平和を作った町の人たちの生活につ

いる一部だとしたら自分の町への思いは足りないと思いました。

議員さんの話を聞いて自分なりに考えたことがあります。それは



6年3組の児童さんたち

いてです。他の市町村の事故を聞いて「ああ、たいへんだなあ。」

「かわいそうだな。」

「いつつもの町のこと

んな事故がないように

するために話すのは

つでも町のことを思っ

ていると考えました。

このような議員さん

の話からぼくは小布施

という町のことについ

て少し、くわしく知り

ました。そして議員さ

んの仕事も少しだけど

くわしく知れてよかつ

たと思いました。

議会見学をして

6の3 加藤 羽奈

私は、よく町報小布

施の中に入っている

「議会だより」を読み

ます。でも難しい内容

がよく分かりません。

議員さん達はすごいな

と思います。そして本

物の議場と本物の議員

さんを見て思ったこと

が三つあります。一つ

目は議場が修学旅行で

いった国会議事堂に似

ていたところでした。小

さいバージョンでビッ

クリしました。二つ目

は議員さんが少ないこ

とです。私はもつと

いっぱいいると思っ

ましたが、あまりいま

せんでした。なのに小

布施町を動かさせてい

てすごいと思いました。

三つ目は私達のことを

考えてくれていたとい

うことです。小中学校

での色覚の問題を考え

てくれていて、とても

ありがたく思いました。

議員さん達は改めて

とてもすごいと思いま

した。この小布施町に

ついて、しっかりと案を

出し、改善をしていっ

てくれて、小布施町は

とてもいい町だなと思

いました。

議会を見学しに行きました

6の3 市川 悠乃

私達が見せてもらっ

たのは、水道管の経年

劣化による破裂の恐れ

についてのことと、小

中学に色覚障害対応

チョークの導入につい

てのこの話し合いを

見学させてもらいま

した。

小布施町の将来を大

きく左右する議会の話

し合いに参加する人は

全員、自分の質問に関

係してない話も熱心に

耳をかたむけているの

を見て、小布施

町のことをよく

考えているんだ

なあ。町を任

うってこういう

ことなんだなあ

と思いました。

私達が見学した

議員さんから町

への2つの質問

はどちらも難し

いと思いました。



授業参観・算数授業（少人数学習）

議会の会議を見に行つて

6の4 丸山 日愛

私たちが見に行つた、小布施町議会の12月会議、そこでは質問者が持ち時間の30分でたくさん質問をして、答える人は一つ一ついいに答えていました。

つしつかり答えられる

ところもすごいと思

いました。質問の内容や

それに対する答えの内

容は、すごく難しく

全然意味が分からな

かったけど、議員さん

たちはみんな真剣な顔

で話していることを聞

いていたので、「この

人たちは、真剣に小布

施町のために、話し合

いをしていて、すごい

なあ。」と思いました。

町議会を見学して

6の4 小林柚希奈

私は、町議会を見学

して、思った事が二つ

あります。一つ目は、

人材交流についてです。

私は、大きくなつたら、

いろいろな都市に行っ

てみたいしそこで仕事

してみたいけど小布

施にもずっと住みたい

から、町の議会で人材

交流の話をしているの

を聞いて、今よりもそ

ういうのが増えるとい

いなと思いました。

二つ目は、私達の児

童会とのちがいに

てです。議会は、児童

総会と似ていました。

ですが、議会は児童総

会より人数が少なかつ

たです。それなのに質

問が児童総会より多く

てびっくりしました。

私は、議会がもっと難

しい話ばかりしている

のかと思つていただけ

私にもなんとなくでも

分かるような話もあつ

てうれしくなりました。

議会を見て私は、いつ

か町のためになるよう

な仕事をしたいなと思

いました。

町議会を見て

思ったこと

6の4 鶴田 心彩

私は、町議会を見て、

質問者や回答者の人が

自分の疑問に思つた事

を整理して、すぐに質

問できるのがすごいと

思いました。そして、

議会を見学しに行きました

6の3 市川 悠乃

私達が見せてもらっ

たのは、水道管の経年

劣化による破裂の恐れ

についてのことと、小

中学に色覚障害対応

チョークの導入につい

てのこの話し合いを

見学させてもらいま

した。

小布施町の将来を大

きく左右する議会の話

し合いに参加する人は

全員、自分の質問に関

係してない話も熱心に

耳をかたむけているの

を見て、小布施

町のことをよく

考えているんだ

なあ。町を任

うってこういう

ことなんだなあ

と思いました。

私達が見学した

議員さんから町

への2つの質問

はどちらも難し

いと思いました。

回答者の人は、質問に

対してすぐに相手が納

得できる答弁ができて

いてすごいと思いま

した。私は、栗が丘小学

校の児童会で議長を務

めているので、すらす

らと相手が納得できるよ

うな答弁ができるよう

にしたいです。見

に行つた今日の議会での

質問者の持ち時間は三

十分でした。難しい質

問内容を三十分という

短い時間を上手に使っ

て質問することにご

うと思われました。私は、

議員の人達や色々な人

が小布施町をよりよく

しようとしている事に

改めて、感謝したいで

す。私も、議長として

今日の会議のように、

良い児童総会をします。

大変大きな学びの場

町議会の見学

教頭 伊賀 雅志

町議会の様子を自分

の目で直に見学したこ

とは、日頃から児童会

の企画や運営をして、

自分たちの学校生活を

楽しく豊かなものにし

ようと取り組んでいる

6年生にとって、大変

大きな学びとなったと

思います。教室で写真

や動画を見て学ぶ学習

とは比べものにならな

いその場の緊張感や、

納得いくまで何度も再

質問を繰り返す議員さ

んの真剣な姿、丁寧に

親身になって答弁する

行政の方々の姿から、

小布施町に対する思い

の深さを感じ取った子

どもたちが大勢いまし

た。また、町の身近な

ことが、このように話

合われて決められてい

ることを知り、改めて

小布施町に対する見方

や考え方を広げる貴重

な機会となりました。

